

1. Office2007 作成ファイルに対応した OpenOffice.org の紹介
2. 大学生協の複合機印刷サービスの利用（本庄地区限定）

1. Office2007 作成ファイルに対応した OpenOffice.org の紹介

システム更新に伴い、事務情報及び教育用システムの統合オフィスソフトが、Office2007 になりました。そのため、Office2007 で作成したファイルが、メールなどに添付されることが多くなると思います。

Office2003 では、Office2007 作成ファイルを開くことができませんので、Office2003 に、Microsoft Office 互換機能パックのインストールが必要です。ただし、Office 互換機能パックは、Office2007 に完全対応ではありませんので、ご注意ください。

また、Office2007 で作成したファイルに対応し、無料で利用できる統合オフィスソフト OpenOffice.org ver3.2.0 があります。

OpenOffice.org ver3.2.0 には、Windows、MacOSX(Intel,PowerPC)、Linux、Solaris 版があり、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、データベース、図形描画、数式作成が含まれ、オフィスソフトとして十分な機能を持っています。しかも、Microsoft Office と互換性があり、Microsoft Office 作成ファイルを開いて編集することもでき、Microsoft Office 形式で保存することも可能です。ただし、Microsoft Office 作成ファイルを開く場合、書式が乱れる場合があります。

Office2007 に移行しないユーザの皆さんには、無料で利用できる OpenOffice.org をお奨めします。

OpenOffice.org のサイトは、<http://ja.openoffice.org/> です。

2. 大学生協の複合機印刷サービスの利用（本庄地区限定）

システム更新に伴い、メインセンター、附属図書館本館、キャリアセンターのプリンターは、大学生協の複合機（プリンター、コピー）印刷サービスに移行しました。

大学生協の複合機は、メインセンター 2 台、附属図書館本館 2 台、キャリアセンター 1 台が設置されており、この複合機を利用する場合は、大学生協で販売しているコピー用プリペードカードの購入が必要です。

印刷（コピー）料金は、A4 サイズ 1 枚 10 円です。

大学生協の複合機は、ネットワークに接続されていないので、利用者用端末からは直接印刷することはできません。利用者用端末で作成したワードなどのファイルを印刷する場合は、ファイルをいったん PDF ファイルに変換し、USB メモリにコピーします。大学生協の複合機にプリペードカードと USB メモリを挿入し印刷します。印刷手順につきましては、利用者用端末備え付けの「利用の手引き」、または複合機備え付けの説明書をお読みください。

なお、印刷料金は個人負担となりますので、教員の皆さま方には unnecessary な印刷を学生にさせないように十分ご配慮いただくようお願いいたします。